

生涯にわたって
社会のいたるところで学ぶための方法序説

学習支援のヒントの場を持つ

安西 春樹

提案・雑多な会話や多様な人と
の関わりから学習課題やプログラ
ム組み立てのヒントを引き出
してはいかがでしょうか？

学習支援者として、事業企画の
方法論は多々ありますが、みなさ
んはどういう方法で実践してい
ますか？

歴史ある事業ほど前例踏襲を基
本に学習プログラムを組んでいる
方も多いと思います。良くも悪く
も私もそのひとりです。

その理由として、まず第一に効
率が良いという点、すでに「形」
があり、そこに要素を当てはめて
いくことは、限りある時間の節約
にもなり、人的資源にも左右され
ない面があります。

ただ、重大な難があるとすれば、
同じことを繰り返しているだけで
発展がなくなること。また、現状
の社会要請との乖離が起きる可
能性があること。いわゆるマンネリ
化することだと思います。

また、学習支援を専門職として
関わっている方にとっては、それ
の築き上げた最たるものだと言
えます。様々な法律は、時代の要
請によって知恵を絞って作られた
ルールだと言えますが、時代や世
の中の情勢の変化によって齟齬が
生まれてくることは致し方ありません。

もうひとつ例えれば、法律も先
人の築き上げた最たるものだと言
えます。様々な法律は、時代の要
請によって知恵を絞って作られた
ルールだと言えますが、時代や世
の中の情勢の変化によって齟齬が
生まれてくることは致し方ありません。

その時、ルールのできた意図・
意味を知り確認すること、それか
ら「今」に合わせた「形」が望ま
れるなら相応のアクションを起こ
すことが必要だと思います。

どのような事柄でも、「今まで
のやり方」を否定するのではなく、
「形」の意味からメリット・デメ
リットを整理して、「今のやり方」
を作ることが大切だと思います。

温故知新は、まさしく「学びの場」
において大切な言葉ではないでし
ょうか。

めた様々な方法を学習プログラム
の中に取り入れることも学習支援
者として必要なのではないでしょ
うか。コロナの状況下で多く取り
入れられているオンライン学習も
同様です。

もうひとつ例えれば、法律も先
人の築き上げた最たるものだと言
えます。様々な法律は、時代の要
請によって知恵を絞って作られた
ルールだと言えますが、時代や世
の中の情勢の変化によって齟齬が
生まれてくることは致し方ありません。

その時、ルールのできた意図・
意味を知り確認すること、それか
ら「今」に合わせた「形」が望ま
れるなら相応のアクションを起こ
すことが必要だと思います。

どのような事柄でも、「今まで
のやり方」を否定するのではなく、
「形」の意味からメリット・デメ
リットを整理して、「今のやり方」
を作ることが大切だと思います。

温故知新は、まさしく「学びの場」
において大切な言葉ではないでし
ょうか。

ひとつの事例として、私が担当
した昨年度のボランティア養成の
姿勢

が続くことで自身の存在意義が見
えなくなることも危惧されます。
結果、「社会教育」の専門性不要
論にもつながる大きな課題です。

支援に関わる者が、学習プログ
ラム、学習方法の作り方を見直す
ことは、自戒も含め、良い面・悪
い面を自ら判断し原理・意味を確
認する大切な作業だと思います。

例えば、学習の方法や形式も、
現在も広く行われている「一人の講
師が多数に対し一方的に話をする
「講義形式」では、多数に対しても
より良い使い方を知ることが必要
だと私は考えています。

既存の形式・マニュアルは、先
人の築いたその時点でのbestであ
り、長いスパンで見ればbetterで
あると言えます。

状況の変化によりひっくり返っ
てbadになる可能性も秘めている
点を知つておく必要もあります
が、その上で、先人の意図、当時
の意図を理解することが大切だと
思います。

先人が築き上げてきた「形」に
介させていただいた講座のその後
の活動です。

集まりの中では、自由な参加を
基本に、受容と共感を基にした会
話と理解をトレーニングしていく
ことで、地域課題や生活課題を共有し、
そこにいる人達が当事者として共
に考え合い、話し合う場にしてい
くファシリテーションが学習支援
者として必要だと考えます。

マンネリ化しがちな学習講座の
テーマ、組み立てのヒントも人の
輪の中の生活当事者としての生き
た話題の中にあるはずです。

の当時の情勢による「意味」「意
図」が必ず込められています。

私たち後進の者は、形式をそ
のままになぞつて進めるだけでなく、
「意味」を理解し「想い」を汲み取
った上で、現在の情勢に合わせた
「形」を積み上げていくことが必要
なのではないでしょうか。

例えば、学習の方法や形式も、
現在も広く行われている「一人の講
師が多数に対し一方的に話をする
「講義形式」では、多数に対しても
より良い使い方を知ることが必要
だと私は考えています。

既存の形式・マニュアルは、先
人の築いたその時点でのbestであ
り、長いスパンで見ればbetterで
あると言えます。

状況の変化によりひっくり返っ
てbadになる可能性も秘めている
点を知つておく必要もあります
が、その上で、先人の意図、当時
の意図を理解することが大切だと
思います。

先人が築き上げてきた「形」に
介させていただいた講座のその後
の活動です。

集まりの中では、自由な参加を
基本に、受容と共感を基にした会
話と理解をトレーニングしていく
ことで、地域課題や生活課題を共有し、
そこにいる人達が当事者として共
に考え合い、話し合う場にしてい
くファシリテーションが学習支援
者として必要だと考えます。

マンネリ化しがちな学習講座の
テーマ、組み立てのヒントも人の
輪の中の生活当事者としての生き
た話題の中にあるはずです。

の当時の情勢による「意味」「意
図」が必ず込められています。

私たち後進の者は、形式をそ
のままになぞつて進めるだけでなく、
「意味」を理解し「想い」を汲み取
った上で、現在の情勢に合わせた
「形」を積み上げていくことが必要
なのではないでしょうか。

例えば、学習の方法や形式も、
現在も広く行われている「一人の講
師が多数に対し一方的に話をする
「講義形式」では、多数に対しても
より良い使い方を知ることが必要
だと私は考えています。

既存の形式・マニュアルは、先
人の築いたその時点でのbestであ
り、長いスパンで見ればbetterで
あると言えます。

状況の変化によりひっくり返っ
てbadになる可能性も秘めている
点を知つておく必要もあります
が、その上で、先人の意図、当時
の意図を理解することが大切だと
思います。

先人が築き上げてきた「形」に
介させていただいた講座のその後
の活動です。

集まりの中では、自由な参加を
基本に、受容と共感を基にした会
話と理解をトレーニングしていく
ことで、地域課題や生活課題を共有し、
そこにいる人達が当事者として共
に考え合い、話し合う場にしてい
くファシリテーションが学習支援
者として必要だと考えます。

マンネリ化しがちな学習講座の
テーマ、組み立てのヒントも人の
輪の中の生活当事者としての生き
た話題の中にあるはずです。

の当時の情勢による「意味」「意
図」が必ず込められています。

私たち後進の者は、形式をそ
のままになぞつて進めるだけでなく、
「意味」を理解し「想い」を汲み取
った上で、現在の情勢に合わせた
「形」を積み上げていくことが必要
なのではないでしょうか。

例えば、学習の方法や形式も、
現在も広く行われている「一人の講
師が多数に対し一方的に話をする
「講義形式」では、多数に対しても
より良い使い方を知ることが必要
だと私は考えています。

既存の形式・マニュアルは、先
人の築いたその時点でのbestであ
り、長いスパンで見ればbetterで
あると言えます。

状況の変化によりひっくり返っ
てbadになる可能性も秘めている
点を知つておく必要もあります
が、その上で、先人の意図、当時
の意図を理解することが大切だと
思います。

先人が築き上げてきた「形」に
介させていただいた講座のその後
の活動です。

集まりの中では、自由な参加を
基本に、受容と共感を基にした会
話と理解をトレーニングしていく
ことで、地域課題や生活課題を共有し、
そこにいる人達が当事者として共
に考え合い、話し合う場にしてい
くファシリテーションが学習支援
者として必要だと考えます。

マンネリ化しがちな学習講座の
テーマ、組み立てのヒントも人の
輪の中の生活当事者としての生き
た話題の中にあるはずです。

の当時の情勢による「意味」「意
図」が必ず込められています。

私たち後進の者は、形式をそ
のままになぞつて進めるだけでなく、
「意味」を理解し「想い」を汲み取
った上で、現在の情勢に合わせた
「形」を積み上げていくことが必要
なのではないでしょうか。

例えば、学習の方法や形式も、
現在も広く行われている「一人の講
師が多数に対し一方的に話をする
「講義形式」では、多数に対しても
より良い使い方を知ることが必要
だと私は考えています。

既存の形式・マニュアルは、先
人の築いたその時点でのbestであ
り、長いスパンで見ればbetterで
あると言えます。

状況の変化によりひっくり返っ
てbadになる可能性も秘めている
点を知つておく必要もあります
が、その上で、先人の意図、当時
の意図を理解することが大切だと
思います。

先人が築き上げてきた「形」に
介させていただいた講座のその後
の活動です。

集まりの中では、自由な参加を
基本に、受容と共感を基にした会
話と理解をトレーニングしていく
ことで、地域課題や生活課題を共有し、
そこにいる人達が当事者として共
に考え合い、話し合う場にしてい
くファシリテーションが学習支援
者として必要だと考えます。

マンネリ化しがちな学習講座の
テーマ、組み立てのヒントも人の
輪の中の生活当事者としての生き
た話題の中にあるはずです。

の当時の情勢による「意味」「意
図」が必ず込められています。

私たち後進の者は、形式をそ
のままになぞつて進めるだけでなく、
「意味」を理解し「想い」を汲み取
った上で、現在の情勢に合わせた
「形」を積み上げていくことが必要
なのではないでしょうか。

例えば、学習の方法や形式も、
現在も広く行われている「一人の講
師が多数に対し一方的に話をする
「講義形式」では、多数に対しても
より良い使い方を知ることが必要
だと私は考えています。

既存の形式・マニュアルは、先
人の築いたその時点でのbestであ
り、長いスパンで見ればbetterで
あると言えます。

状況の変化によりひっくり返っ
てbadになる可能性も秘めている
点を知つておく必要もあります
が、その上で、先人の意図、当時
の意図を理解することが大切だと
思います。

先人が築き上げてきた「形」に
介させていただいた講座のその後
の活動です。

集まりの中では、自由な参加を
基本に、受容と共感を基にした会
話と理解をトレーニングしていく
ことで、地域課題や生活課題を共有し、
そこにいる人達が当事者として共
に考え合い、話し合う場にしてい
くファシリテーションが学習支援
者として必要だと考えます。

マンネリ化しがちな学習講座の
テーマ、組み立てのヒントも人の
輪の中の生活当事者としての生き
た話題の中にあるはずです。

の当時の情勢による「意味」「意
図」が必ず込められています。

私たち後進の者は、形式をそ
のままになぞつて進めるだけでなく、
「意味」を理解し「想い」を汲み取
った上で、現在の情勢に合わせた
「形」を積み上げていくことが必要
なのではないでしょうか。

例えば、学習の方法や形式も、
現在も広く行われている「一人の講
師が多数に対し一方的に話をする
「講義形式」では、多数に対しても
より良い使い方を知ることが必要
だと私は考えています。

既存の形式・マニュアルは、先
人の築いたその時点でのbestであ
り、長いスパンで見ればbetterで
あると言えます。

状況の変化によりひっくり返っ
てbadになる可能性も秘めている
点を知つておく必要もあります
が、その上で、先人の意図、当時
の意図を理解することが大切だと
思います。

先人が築き上げてきた「形」に
介させていただいた講座のその後
の活動です。

集まりの中では、自由な参加を
基本に、受容と共感を基にした会
話と理解をトレーニングしていく
ことで、地域課題や生活課題を共有し、
そこにいる人達が当事者として共
に考え合い、話し合う場にしてい
くファシリテーションが学習支援
者として必要だと考えます。

マンネリ化しがちな学習講座の
テーマ、組み立てのヒントも人の
輪の中の生活当事者としての生き
た話題の中にあるはずです。

の当時の情勢による「意味」「意
図」が必ず込められています。

私たち後進の者は、形式をそ
のままになぞつて進めるだけでなく、
「意味」を理解し「想い」を汲み取
った上で、現在の情勢に合わせた
「形」を積み上げていくことが必要
なのではないでしょうか。

例えば、学習の方法や形式も、
現在も広く行われている「一人の講
師が多数に対し一方的に話をする
「講義形式」では、多数に対しても
より良い使い方を知ることが必要
だと私は考えています。

既存の形式・マニュアルは、先
人の築いたその時点でのbestであ
り、長いスパンで見ればbetterで
あると言えます。

状況の変化によりひっくり返っ
てbadになる可能性も秘めている
点を知つておく必要もあります
が、その上で、先人の意図、当時
の意図を理解することが大切だと
思います。

先人が築き上げてきた「形」に
介させていただいた講座のその後
の活動です。

集まりの中では、自由な参加を
基本に、受容と共感を基にした会
話と理解をトレーニングしていく
ことで、地域課題や生活課題を共有し、
そこにいる人達が当事者として共
に考え合い、話し合う場にしてい
くファシリテーションが学習支援
者として必要だと考えます。

マンネリ化しがちな学習講座の
テーマ、組み立てのヒントも人の
輪の中の生活当事者としての生き
た話題の中にあるはずです。

の当時の情勢による「意味」「意
図」が必ず込められています。

私たち後進の者は、形式をそ
のままになぞつて進めるだけでなく、
「意味」を理解し「想い」を汲み取
った上で、現在の情勢に合わせた
「形」を積み上げていくことが必要
なのではないでしょうか。

例えば、学習の方法や形式も、
現在も広く行われている「一人の講
師が多数に対し一方的に話をする
「講義形式」では、多数に対しても
より良い使い方を知ることが必要
だと私は考えています。

既存の形式・マニュアルは、先
人の築いたその時点でのbestであ
り、長いスパンで見ればbetterで
あると言えます。

状況の変化によりひっくり返っ
てbadになる可能性も秘めている
点を知つておく必要もあります
が、その上で、先人の意図、当時
の意図を理解することが大切だと
思います。

先人が築き上げてきた「形」に
介させていただいた講座のその後
の活動です。

集まりの中では、自由な参加を
基本に、受容と共感を基にした会
話と理解をトレーニングしていく
ことで、地域課題や生活課題を共有し、
そこにいる人達が当事者として共
に考え合い、話し合う場にしてい
くファシリテーションが学習支援
者として必要だと考えます。

マンネリ化しがちな学習講座の
テーマ、組み立てのヒントも人の
輪の中の生活当事者としての生き
た話題の中にあるはずです。

の当時の情勢による「意味」「意
図」が必ず込められています。

私たち後進の者は、形式をそ
のままになぞつて進めるだけでなく、
「意味」を理解し「想い」を汲み取
った上で、現在の情勢に合わせた
「形」を積み上げていくことが必要
なのではないでしょうか。

例えば、学習の方法や形式も、
現在も広く行われている「一人の講
師が多数に対し一方的に話をする
「講義形式」では、多数に対しても
より良い使い方を知ることが必要
だと私は考えています。

既存の形式・マニュアルは、先
人の築いたその時点でのbestであ
り、長いスパンで見ればbetterで
あると言えます。

状況の変化によりひっくり返っ
てbadになる可能性も秘めている
点を知つておく必要もあります
が、その上で、先人の意図、当時
の意図を理解することが大切だと
思います。

先人が築き上げてきた「形」に
介させていただいた講座のその後
の活動です。

集まりの中では、自由な参加を
基本に、受容と共感を基にした会
話と理解をトレーニングしていく
ことで、地域課題や生活課題を共有し、
そこにいる人達が当事者として共
に考え合い、話し合う場にしてい
くファシリテーションが学習支援
者として必要だと考えます。

マンネリ化しがちな学習講座の
テーマ、組み立てのヒントも人の
輪の中の生活当事者としての生き
た話題の中にあるはずです。

の当時の情勢による「意味」「意
図」が必ず込められています。

私たち後進の者は、形式をそ
のままになぞつて進めるだけでなく、
「意味」を理解し「想い」を汲み取
った上で、現在の情勢に合わせた
「形」を積み上げていくことが必要
なのではないでしょうか。

例えば、学習の方法や形式も、
現在も広く行われている「一人の講
師が多数に対し一方的に話をする
「講義形式」では、多数に対しても
より良い使い方を知ることが必要
だと私は考えています。

既存の形式・マニュアルは、先
人の築いたその時点でのbestであ
り、長いスパンで見ればbetterで
あると言えます。

状況の変化によりひっくり返っ
てbadになる可能性も秘めている
点を知つておく必要もあります
が、その上で、先人の意図、当時
の意図を理解することが大切だと
思います。

先人が築き上げてきた「形」に
介させていただいた講座のその後
の活動です。

集まりの中では、自由な参加を
基本に、受容と共感を基にした会
話と理解をトレーニングしていく
ことで、地域課題や生活課題を共有し、
そこにいる人達が当事者として共
に考え合い、話し合う場にしてい
くファシリテ

間交流、家族内の困った出来事、

ウクライナの友人の話、参加した

学習講座など各自の実践や関心毎

など様々な話題が出て、それに対

しての感想と気づきも多く確認で

きました。

「何を話しても良い」「ただし、

「聴く」ことを意識して」という

ルールの中、雑多な会話の中にも、

世の中の生活課題が多く話題にあ

がりました。

等身大の身近な話題の中から、「戦争」、「引きこもり」、「格差」、

「老々介護」、「世代間のギャップ」

など、社会の課題につながること

を当事者として意識できる内容で

した。

一通りの近況報告の後には、フ

リーに話す時間も設けましたが、

自然と「Think Globally, Act Locally」

に通ずる今後の地域活動に向けて

の思いを確認し合うことができま

した。

そして、なによりこうした「話

をする場、聴く場」がいかに貴重

で、自分たちに必要かを実感し、

「楽しい」という思いとともに

「続けていきたい」という共通意

識が出来たことが収穫でした。

4月には、ゲストとして以前の

ボランティア養成講座の修了をき

つかけに、区内の高齢者施設で筆

文字講座を実践している区民の方

を招いて、話を聞く時間も設けま

した。

この集まりのもう一つの特徴と

して、メンバーを固定せず、養成

講座の修了は問わずに主旨に賛同

できれば出入り自由としているこ

とです。

ゆるやかなコミュニティとして

集まっていますが、現段階では、

年度内に世代間交流をテーマにし

た地域活動イベントの開催、他地

域・他コミュニティとの交流会、

自分達のふりかえり研修の実施を

することが決まっています。

何回かの話し合いの中で、地域

活動やボランティア活動を目指す

ための心がけとして、より多くの

「誰かの幸せのために」活動する

には、まず隣のメンバーの「幸せ」

を考える。そのために各自が楽し

くあることを確認し、続けること

が大切だと認識しています。

また、ゆくゆくは生涯学習・社会教育を職員のみならず様々な立場から語ることのできる場にしていきたいと考えています。まだ知名度の低い社会教育の一般化に繋がること、当事者による学習主体の意識付けができるることを期待しています。

私は、この集まりを表現が良くないかもしれません、「自由な実験場」と位置付けています。

今回、本稿のテーマとした学習支援者としての「学習テーマ設定」「プログラムの組み立てのヒント」

も、私にとってこのコミュニティの「生きた声」が多数の視点という意味で有効になっています。

今は社会のほんの小さなコミュニティですが、こうした個々のコミュニティの集まりが広がり、さらに他者との繋がりを持つことで多くの学びのきっかけが生まれることを期待しています。

行政の学習支援者として

社会教育行政の職員としては、客観的な地域住民の学習ニーズを

生涯学習と社会教育の理念を一般化して学習プログラムに組み入れてはいかがでしょうか。

そして、「今」の形を作るために、過程・歴史を知るだけではなく、その「意味」を理解すること、多

数の視点を取り入れる場を持つことをはじめてはいかがでしょうか。

安西春樹（あんざい・はるき）

中央区区民部文化・生涯学習課総括生涯学習指導員

本ですが、身近な生活の言葉と現代社会の諸課題、例えば、戦争、貧困、社会格差、SDGs：それらを繋ぎ、紡いでいく役割を持つことも社会教育に関わる私たち一人ひとりの使命ではないでしょうか。

もちろん、世の中には色々な方がいますので、それぞれに合った学習方法、例えば個人学習、オンライン学習、ワークショップ、ゴ

ールや目的のはつきりしているものの、講義形式：など、多様な学習機会を整え、横断的に人と人との繋いでいく役割も忘れてはいたいと思います。

と同時に学習支援者として、生涯学習と社会教育の理念を一般化して学習プログラムに組み入れてはいかがでしょうか。

そして、「今」の形を作るために、過程・歴史を知るだけではなく、その「意味」を理解すること、多

数の視点を取り入れる場を持つことをはじめてはいかがでしょうか。

安西春樹（あんざい・はるき）

中央区区民部文化・生涯学習課総括生涯学習指導員